

平成19年10月15日

国公立大学附属図書館長 殿

国公立大学図書館協力委員会委員長
早稲田大学図書館長
加 藤 哲 夫（公印省略）

国公立大学図書館協力委員会主催
平成19年度シンポジウムの開催について（ご案内）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このことについて、別紙のとおり開催いたしますので、貴館職員の皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

つきましては、ご参加の場合は下記のとおり申し込みくださるようお願いいたします。

記

1. テーマ：利用者 300 万人の大学図書館像 - 学習支援図書館の姿を求めて -
2. 開催日時：平成 19 年 11 月 8 日（木）13：00～17：00
3. 場 所：パシフィコ横浜 展示ホールA 第2会場
（<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html> 参照）
4. 募集定員：200 名（先着順）
5. 参加費：無料
6. お申込方法：
参加をご希望の方は、別紙参加申込書にご記入の上、10月31日（水）までに Fax または E メール（forum2007@wul.waseda.ac.jp）でお知らせ下さいますようお願いいたします。
なお、申込みは先着順に受け付けます。申込みが完了しても特に通知等は差し上げませんが、募集定員に達した場合はお断りのご連絡を差し上げますので、予めご了承下さい。
7. 申込み・お問合せ先：
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1 - 6 - 1
早稲田大学図書館
国公立大学図書館協力委員会主催平成19年度シンポジウム事務局（今村，大内）
電 話： 03-5286-1643（直通）
ファックス： 03-5272-2061
E メール： forum2007@wul.waseda.ac.jp

平成 19 年度国公立大学図書館協力委員会シンポジウム

テ ー マ： 利用者 300 万人の大学図書館像 - 学習支援図書館の姿を求めて -

開 催 日 時： 平成 19 年 11 月 8 日（木）13：00～17：00

場 所： パシフィコ横浜 展示ホールA 第2会場

（<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html> 参照）

趣 旨：

大学図書館の主要な役割は大学の教育に対して貢献することである。この役割とその実現について、現代の日本における競争環境下の大学改革という観点と、教育環境全般にわたる情報化という観点とから検討を加え、大学生の学習を支援するこれからの大学図書館の姿をともに考えてみたい。

現在、日本の大学の学部学生は国公立大学で 250 万人を超え、大学院生、非正規学生をあわせれば 20 歳前後を中心に 300 万人が大学図書館の顧客である。これらの学生が大学に何を求め、何に不満を持っているのか、そして、大学図書館は、そのような学生の学習活動をどうすればもっとも効果的に支援できるのか。

この効果的な支援について、米国における大学としてのトータルなアプローチ、日本における教育改革の現状、設置母体・設置目的の多様性などを前提として、5 年後、10 年後に学生からみて大学図書館がどうなっていなければならないかを考察する。

Time Table

13:00 開会挨拶 国公立大学図書館協力委員会委員長

早稲田大学図書館長 加藤 哲夫

13:10 基調講演

講 師： Craig Gibson（George Mason 大学図書館副館長）

14:40 国内大学における先進事例報告（予定）

慶應義塾大学、千葉大学、明治大学、成蹊大学、横浜国立大学

15:55 —休憩（5 分）—

16:00 パネルディスカッション

コーディネーター：東北学院大学教授 佐藤 義則 氏

17:00 —終了—

国公立大学図書館協力委員会主催平成19年度シンポジウム

日 時：平成19年11月 8日(木)午後1時より

場 所：パシフィコ横浜 展示ホールA 第2会場

申込み月日 平成 年 月 日

平成19年度シンポジウム参加申込書			
所属機関名			
役 職 名		参加者氏名	
〃		〃	
〃		〃	
〃		〃	
〃		〃	
電 話 番 号		F A X	
E メ ー ル			
備考欄：ご意見・ご質問等ございましたらご記入ください。			

ご記入の上、FAXにてご送信下さいますようお願いいたします。

E-mailでのお申し込みも受け付けております E-mailアドレス: forum2007@wul.waseda.ac.jp

< FAX 03-5272-2061 >

●事務局記入欄

受付番号	可 否	備 考
------	-----	-----